



「恐竜の島」として知られる御所浦地域には、天然記念物の中でも「地質鉱物」に区分されるアンモナイト化石があります。ユーパキディスカスという種類に分類され、直径60cmもあり、九州最大のものといわれています。



当初は道路工事に伴って埋められる予定でしたが、学術上貴重なものであったこと、また学校や地域の皆さんの強い要望もあって文化財に指定され保存しています。

化石は姫浦層群という約8500万年前の地層に埋められたまま、アンモナイト館として覆屋で現地保存しており、いつでも見学できます。

天草 文化財 探訪

地域の歴史を知る上で欠かせないのが「文化財」。天草市には206もの指定・登録文化財があります。今回は、アンモナイトをご紹介します！

文化財課 ☎32-6784

天神山 (五和町)



天草 見どころ図鑑

国道324号線沿いにある天神山。山頂では360度パノラマの景色が広がっており、早崎海峡を通過する船舶や、対岸の島原半島を間近に望むことができます。また、山頂には学問の神様菅原道真公が祀っており、入試シーズンになると合格祈願に参拝する人たちが多く訪れます。

★見どころポイント

山の参道には桜が植樹されており、春には美しい桜並木を見ることができます。



SUNSET CAFÉ ☎42-0407

田口 あかね さん 玉城 悠生 さん (天草町)

「季節に関係なく、高浜に遊びに来てほしい」  
そう話すのは、白鶴浜海水浴場内でカフェを営んでいる田口あかねさんと玉城悠生さんだ。  
熊本市内の大学を卒業後、カフェなどの飲食店で働いていた田口さん。いずれ自分のお店を持ちたいと思いつつ天草に帰郷。令和元年に知人が高浜地区振興会から同海水浴場海の家の管理を委託されたときに、7・8月の2か月間、海の家でコーヒールを入れるのかわりと誘ってもらったそうだ。  
大阪から移住してきた玉城さんとは昨年7月に出会った。同じ時期に管理者の知人が急逝し、海の家を続けるか悩んだが、続けてほしいという地域や知人の家族からの願いもあり、昨年の11月末にカフェとしてリニューアルオープン。店内の改装も2人で行った。  
このカフェは、カフェラテに絵を描くラテアートを楽しむことが魅力。田口さんがお客さんの雰囲気に合わせて描いており、前回来店した時と違う絵を楽しんでもらえるよう気を付けている。他にも玉城さんお手製の「サンセットライス」など天草西海岸にちなんだ料理も味わうことができる。海岸や夕日などカフェから見る景色も評判で、リピーターや県外から訪れる人も多いそうだ。



1 花を描いたラテアート 2 白鶴浜の波をイメージしたイルミネーション 3 サンセットライスは白鶴浜に沈む夕日を卵で表現

「白鶴浜は夏のイメージが強いので、いつでも人が訪れる場所にしたい」と話す2人。同地区振興会に入り、地域の人たちと一緒に地域おこしにも励んでいる。昨年12月には玉城さんがイルミネーションを企画。訪れた人たちに楽しんでもらった。他にも高浜ぶどうの収穫や地域のイベントなどにも積極的に参加している。  
「高浜を訪れるきっかけをつくりたい」。その思いが2人の原動力なのかもしれない。

キラリ 天草人 冬の白鶴浜も 楽しんでほしい